



広報 さくらライフグループ新聞

今月は埼玉県にある春日部さくら病院の紹介です！

風邪と薬剤耐性菌問題について

春日部さくら病院

院長 相馬 亮介

近年、薬剤耐性菌が非常に問題となつています。薬剤耐性菌とは抗生物質に抵抗力を持った細菌のことで、健康な人に影響を与えることは少ないですが、高齢者やがん治療等で免疫力が低下している人に感染すると重症・難治化し、病院や施設等で集団発生することもある非常に問題となつている菌です。

薬剤耐性菌が増加した主な原因は抗生物質の不適切な使用とされています。特に内服の抗生物質が普及する様になつて使用が簡便になつたことが原因といわれています。不適切使用について最も言われていることは風邪に対する抗生物質の使用です。風邪の原因の80%〜90%はウイルス感染が原因とされています。抗生物質は細菌感染にしか効果がないので風邪の治療は解熱剤や咳止めといった対症療法が中心となります。私が医師になつたばかりの頃は細菌感染合併の予防目的で抗生物質が使用されることもありましたが、現在ではその様な効果はないこともはっきりしています。もちろん細菌感染が疑われる場合には抗生物質を使用しますが、その際にはどの様な細菌に感染しているのかを喀痰検査で調べることが大事です。

2016年に政府は抗生物質の使用量を減らす目的で薬剤耐性アクションプランを策定しました。その中の一つに抗生物質に関する教育と抗生物質の適正使用があげられています。

私たち医師は①風邪はほとんどウイルスが原因である②抗生物質は細菌感染にしか効かない③人には免疫という自己防御システムがあることを患者さんに説明するだけでなく、抗生物質を使用する際にはどの様な細菌に感染しているのか検査を行うことが大事ではないかと思ひます。



施設紹介

当院は、平成13年に設立された透析医療を主とする医療機関で、急性期病棟35床を持つ救急告示病院「愛和病院」の名称で運営を開始しました。

その後、平成27年に医療法人社団さくらライフのグループ法人の1つとなり、平成29年に名称を「春日部さくら病院」へ変更、患者様に安心して長期療養をして頂くため、病棟を急性期から医療療養型へ転換、さくらライフの得意とする「在宅診療」を開始し、外来から入院、透析、退院後は在宅での療養や居宅介護支援といった、医療から介護の一貫したサービスを提供することが可能な複合施設となっております。

また在宅医療は、24時間の緊急対応が可能な在宅療養支援病院の指定を受けております。

春日部市のお隣、千葉県にも近いため埼玉県だけでなく、千葉県からも患者様が来院されます。

県境のどかな環境で、5月には左記に紹介する大風あげ祭りも当院の近くで開催されます。

お近くにお越しの際は是非見て頂ければと思います。

春日部市の紹介 『大風あげ祭り』

春日部には『大風あげ祭り』というお祭りがあるのをご存知でしょうか？毎年5月の3日と5日に子供たちの健やかな成長と幸福を願い、市民一体で開催されるお祭りです。

この大風、縦15m、横11m、なんと畳100畳分の大きさがあります。大風を揚げる人数は百数十人！

和紙と竹で3ヶ月もかけて春日部市『庄和大風文化保存会』の会員の方たちが作っているそうです。

大風が揚がるのを河川敷から人々がワクワクしながら見守ります。

他にも色々な風が空を舞うので、見ごたえたっぷりです！

大風あげ祭り、ご興味がありましたら是非『春日部』に遊びに来て下さい。



広報 さくらの木

2020年 3月号



写真上『ナースステーションの様子』
写真下『談話室の様子』

病棟より

当病棟は一般病棟から医療療養型病床へと転換となり、今年で5年目を迎えました。新年から看護師1名、ヘルパー1名の新人職員を迎え、また新たな気持ちで業務に取り組んでいます。

医療療養型病床となり、慢性的なご病気で何らかの医療行為がある患者様が入院の対象となりました。その為、入院患者様はベッド上で過ごされる方が多く入院しています。急性期医療の入院日数短縮の動きに比例して、医療療養型病床の需要も増え、常にベッドがいっぱいの日が続いています。それでも患者様に適切な看護ケアを提供すべく、日々の業務に励んでいます。

さて、世間では新型コロナウイルスの話題が騒がれています。当病棟においても、患者様への感染予防の為、入院患者様への面会を控えていただく対応をお願いしています。そして病棟職員はもちろんの事、全職員が手洗いうがいを徹底し、感染予防に努めています。また、病棟では職員の免疫力を高めるため、「良く食べ、良く笑い、良く寝る」を実行中です。皆さまは毎日笑えていますか？忙しい毎日だと思いますが、心にゆとりを持ち、毎日を楽しく過ごす事を忘れないようにしたいですね。

今後笑顔も絶やさず、患者様一人一人のニーズに対応できる看護ケアをしていきたいと思えます。

医療連携室より

医療連携室では、入院や退院の相談、訪問診療に関する相談、外来受診に関する相談など、患者様やご家族様はもちろんです。医療機関や各種福祉施設など、様々な人や機関と連携する相談・問い合わせ窓口となっています。

「連携室」という言葉は聞き慣れない方も多いかと思いますが、どのような存在在だと思えますか？

私は各種機関や人と人との心の架け橋もしくは潤滑油のような存在でありたいと思っています。連携室があることで、スムーズに話が進んだり、問い合わせがしやすかったり、院内では看護師が看護業務に専念できたり、等々、皆様に安心して当院を利用することができるようになってほしいと願っています。

どこかのCMのように、「あったら便利、あったらいいな♪」と感じていただける連携室になるよう日々精進して参ります。

疑問点や不安な事、医療・介護に関する事などありましたら、お気軽にお問い合わせください。

今後とも宜しくお願い致します。



～診療案内～

診療担当医師表は受付窓口にて配布しております。
必要な方はご遠慮なくお申し付け下さい。
また随時ホームページにて休診案内を更新していますので、そちらもご確認下さい。
お問い合わせ番号 (048-746-7071)



HP アドレス

(<http://www.k-sakurahosp.com/>)

HP QR コード→



診療担当医師表 QR コード→

